

個人投資家向け会社説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

(東証1部、札証 証券コード:8377)

平成24年6月



設立：昭和18年
(創業明治10年)
本店所在地：富山市
店舗数：(国内) 188 (海外) 6
(本支店140、出張所48)
従業員数：2,755人
資本金：1,404億円
自己資本比率：11.85%
格付：(JCR) A (R&I) A



設立：昭和26年
本店所在地：札幌市
店舗数：(国内) 139 (海外) 2
(本支店132、出張所7)
従業員数：2,385人
資本金：935億円
自己資本比率：10.80%
格付：(JCR) A (R&I) A



設立：平成15年
本店所在地：富山市
資本金：708億円
自己資本比率：11.72%
格付：(JCR) A
(R&I) A

地方銀行 預金・貸出金残高

単位：億円

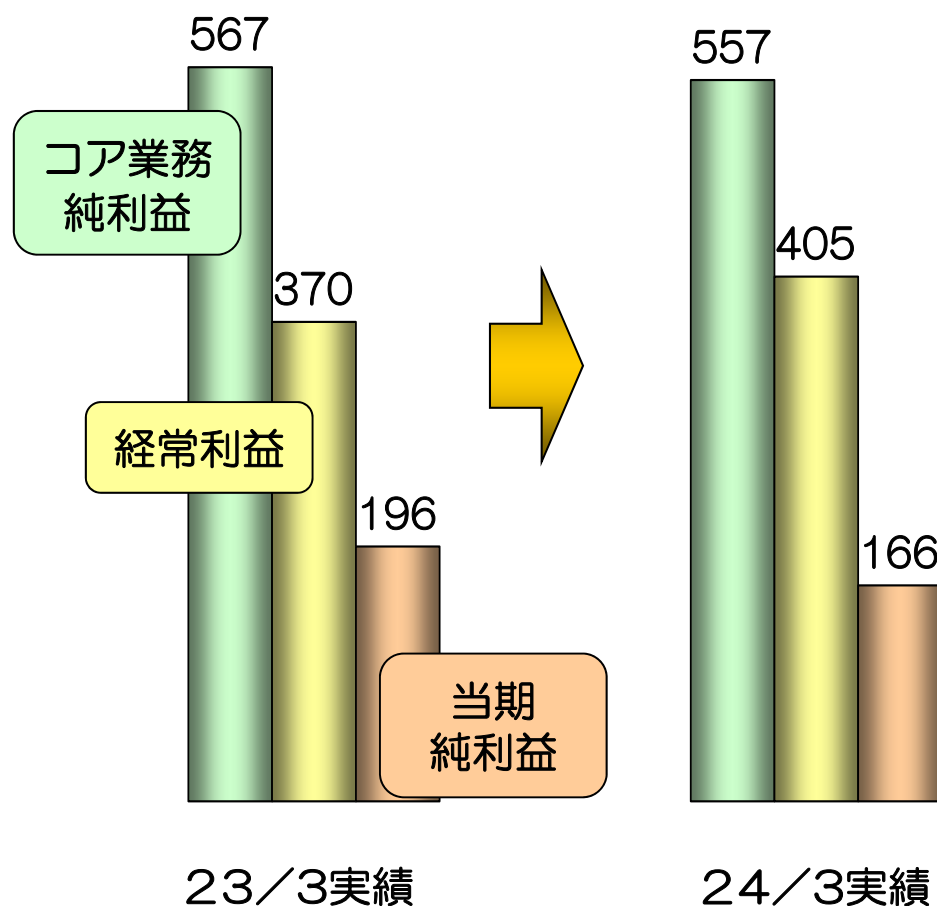
	預金		貸出金	
	1位	横浜	110,915	横浜
2位	ふくおか	107,206	ふくおか	88,795
3位	ほくほく	95,907	千葉	75,817
4位	千葉	93,765	ほくほく	72,870

各行決算短信より当社作成～「ふくおか」「ほくほく」は単純合算～

24年3月期決算概要

24/3期決算概要～損益状況

【収益状況】 <2行合算> (億円)



24/3期は減収・経常増益決算

<FG連結 24/3期実績(前年度比)>

経常収益 2,079億円 (▲66億円)
 経常利益 388億円 (+16億円)
 当期純利益 141億円 (▲42億円)
 ・税制改正に伴う法人税等調整額の増加
 (影響額50億円)

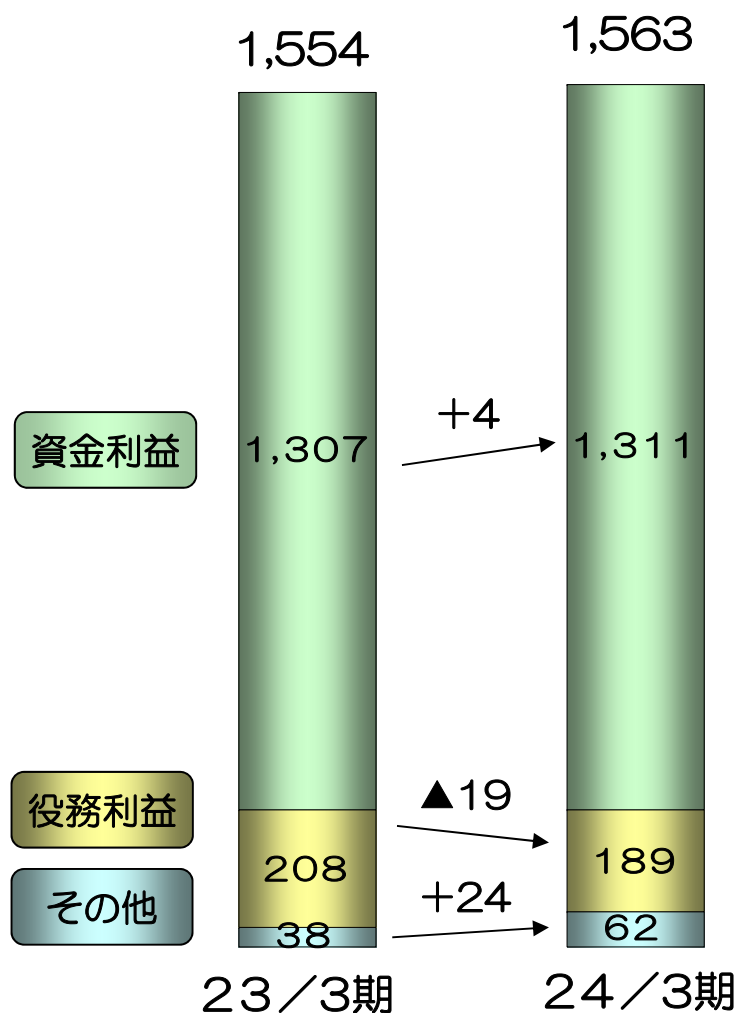
<2行合算>

コア業務粗利益 1,563億円 (+9億円)
 コア業務純利益 557億円 (▲10億円)
 ・資金利益、その他業務利益は増加するも、
 役務取引等利益は減少
 ・新システム投資、人財投資で経費増加
 経常利益 405億円 (+35億円)
 ・与信費用減少 (41億円改善)
 当期利益 166億円 (▲29億円)
 ・子銀行で固定資産の減損 (▲10億円)
 退職給付信託設定損 (▲11億円) の
 特殊要因あり。
 ・税制改正に伴う法人税等調整額の増加
 (影響額51億円)

24 / 3期決算概要～コア業務粗利益

【コア業務粗利益】 <2行合算>

(億円)

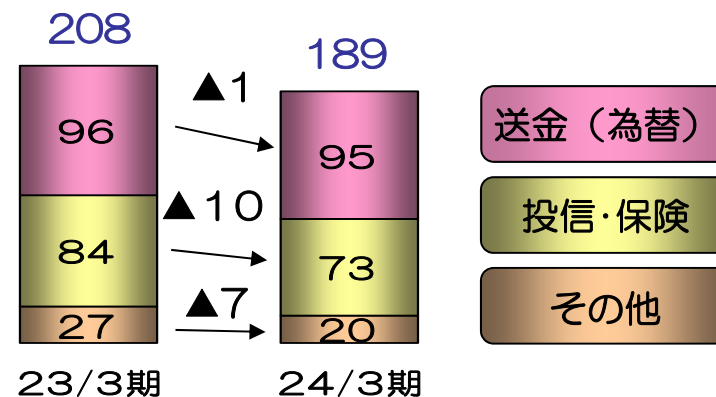


前年度との比較

【資金利益】 国内部門 前年比▲1億円
(貸出利回り低下を有価証券運用増加で補完)

(億円)	残高増加	利回り低下	利息
貸出金	+1,576	▲0.11%	▲50
有価証券	+2,154	▲0.02%	+18
預金・NCD	+2,969	▲0.04%	▲35

【役務取引等利益】 投信・保険販売手数料減少
ローン保険料支払増加



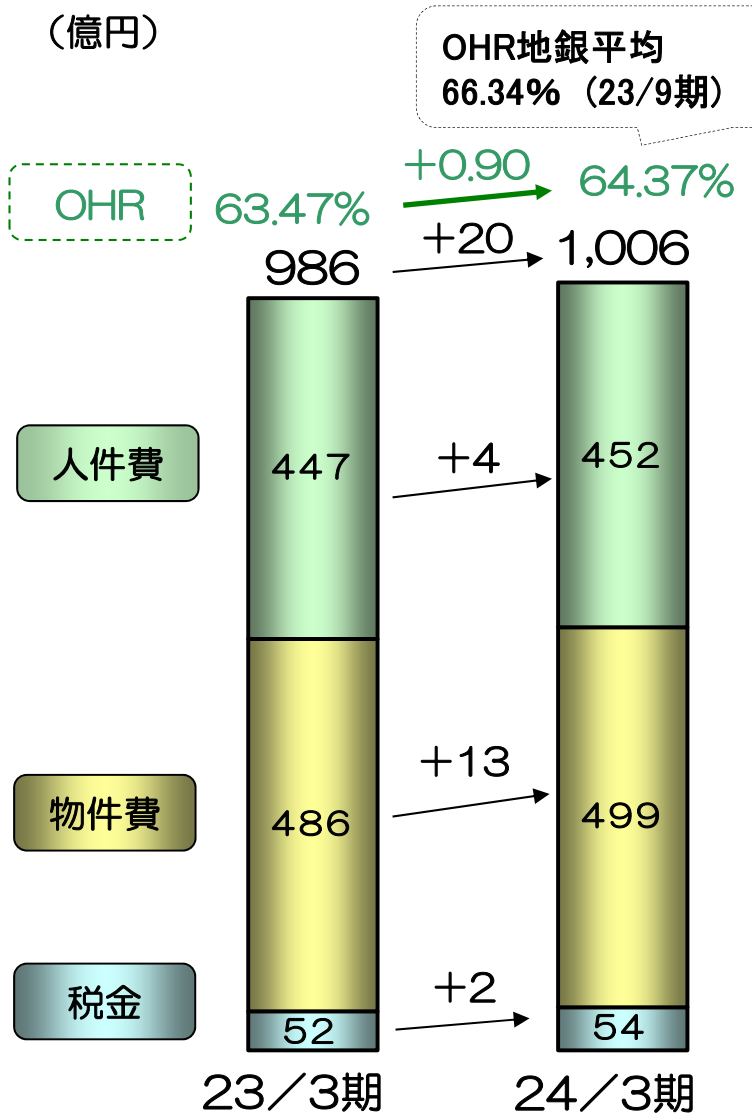
【その他業務利益】

外国為替売買益	16	→	15 (▲0)
金利派生商品収益	9	→	41 (+31)

24 / 3期決算概要～経費

【経費（除く臨時処理分）】 〈2行合算〉

(億円)



OHR地銀平均
66.34% (23/9期)

OHR

63.47%

+0.90 → 64.37%

+20 → 1,006

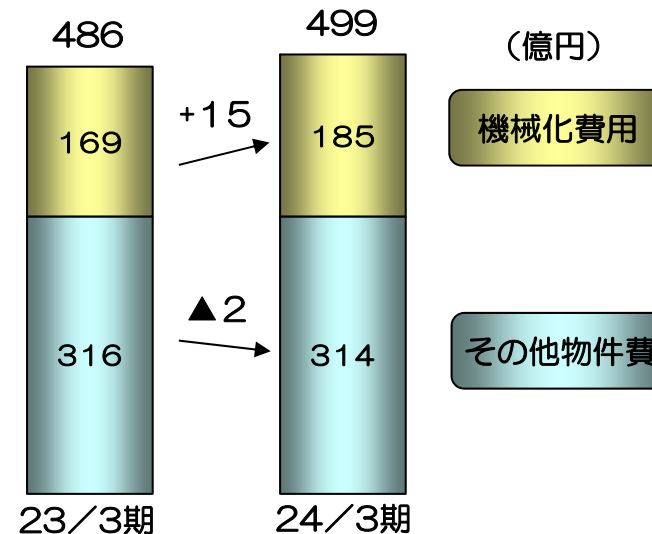
前年度との比較

【人件費】 営業力の強化に向け人員増加

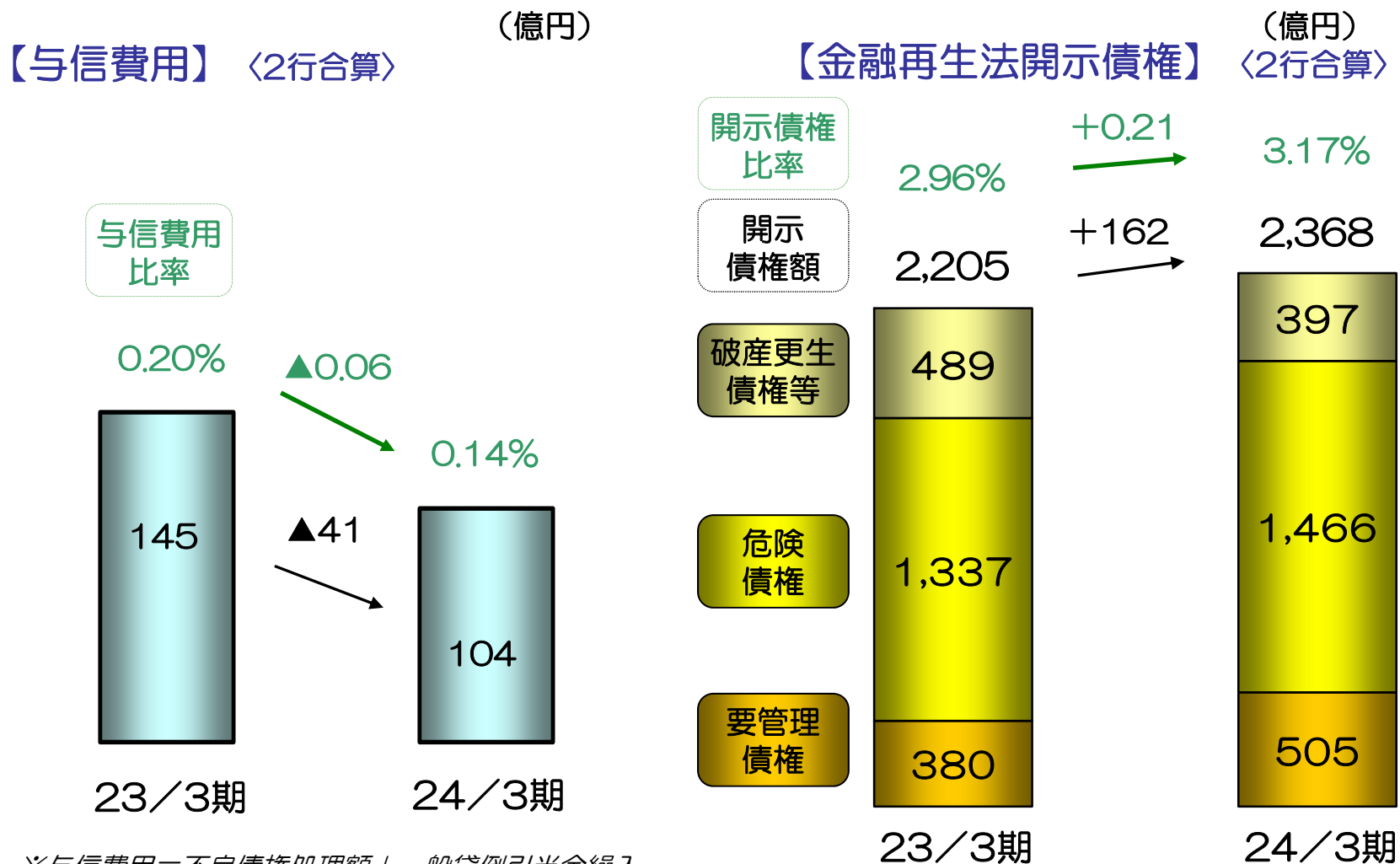
期末従業員数 (人)	23/3末	24/3末	差異
北陸	2,718	2,755	+37
北海道	2,222	2,385	+163
行員合計	4,940	5,140	+200

契約社員・パート (2行合算)
24/3末 前年比▲259名減

【物件費】 新システム投資費用増加



➤金融円滑化法の底支えや、企業再生支援強化により与信費用は41億円減少



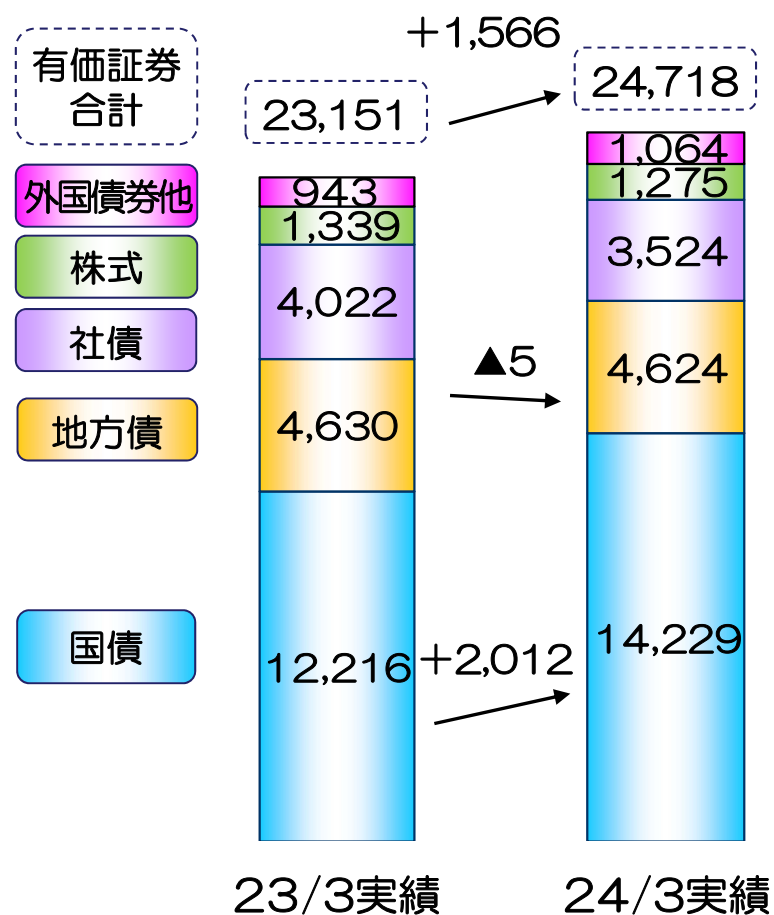
※与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入
与信費用比率＝与信費用÷貸出金平均残高

24/3期決算概要

有価証券残高
関係損益・評価損益

- 有価証券残高は国債を中心に積み上げ
- 有価証券損益は株式市況の低迷で3億円低下、有価証券評価損益は評価益217億円増加

【有価証券残高】 <2行合算>



【有価証券関係損益】 <2行合算> (億円)

	23/3末	24/3末	差異
国債等 関係損益	17	36	+19
株式等 損益	▲27	▲50	▲22
有価証券 関係損益	▲10	▲14	▲3

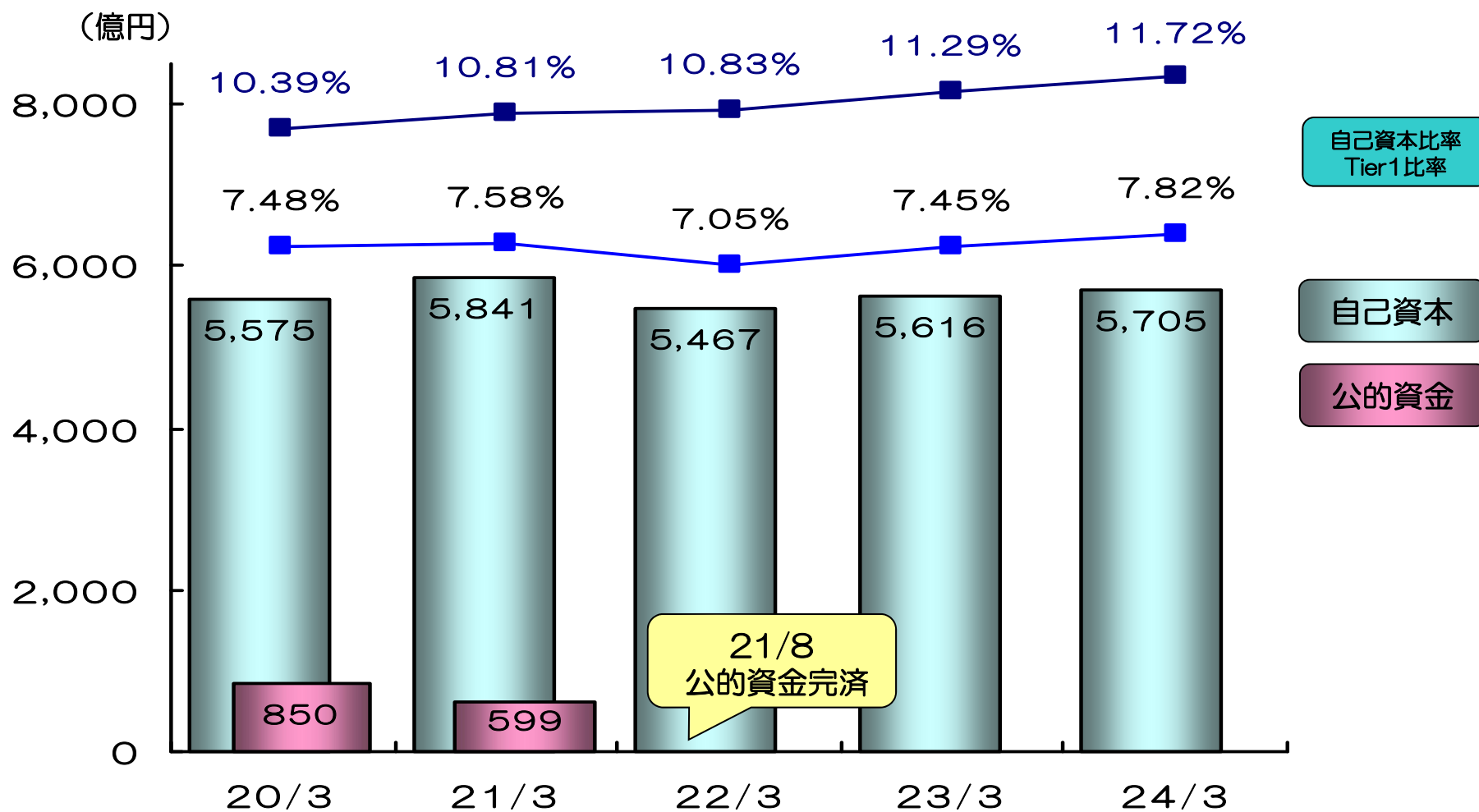
【その他有価証券評価損益】 <2行合算>

	23/3末	24/3末	差異
株式	68	97	+29
債券	210	383	+173
その他	▲29	▲15	+14
合計	248	465	+217

24 / 3期決算概要～自己資本比率

➤自己資本は利益の積み上げにより増加

【自己資本比率・公的資金残高の推移（FG連結）】



24 / 3期決算概要～子銀行業績

【収益状況】 (各行)

(億円)

経常収益
コア業務粗利益
経費
コア業務純益
有価証券等関係損益
与信費用
経常利益
当期純利益

北陸銀行	
24/3期	23/3期比
1,054	▲ 34
885	▲ 0
542	3
343	▲ 3
▲ 11	17
44	▲ 26
274	45
114	▲ 5

北海道銀行	
24/3期	23/3期比
875	5
678	10
464	16
214	▲ 6
▲ 2	▲ 20
59	▲ 14
131	▲ 10
52	▲ 24

<北陸銀行>

コア業務粗利益 (前年比▲0億円)
 資金利益、金融派生商品収益増加、
 投信・保険販売手数料減少
 経費 (同+3億円)
 新システム投資
 経常利益 (同+45億円)
 与信費用減少
 当期利益 (同▲5億円)
 税制改正に伴う法人税等調整額の
 増加 (影響額28億円)

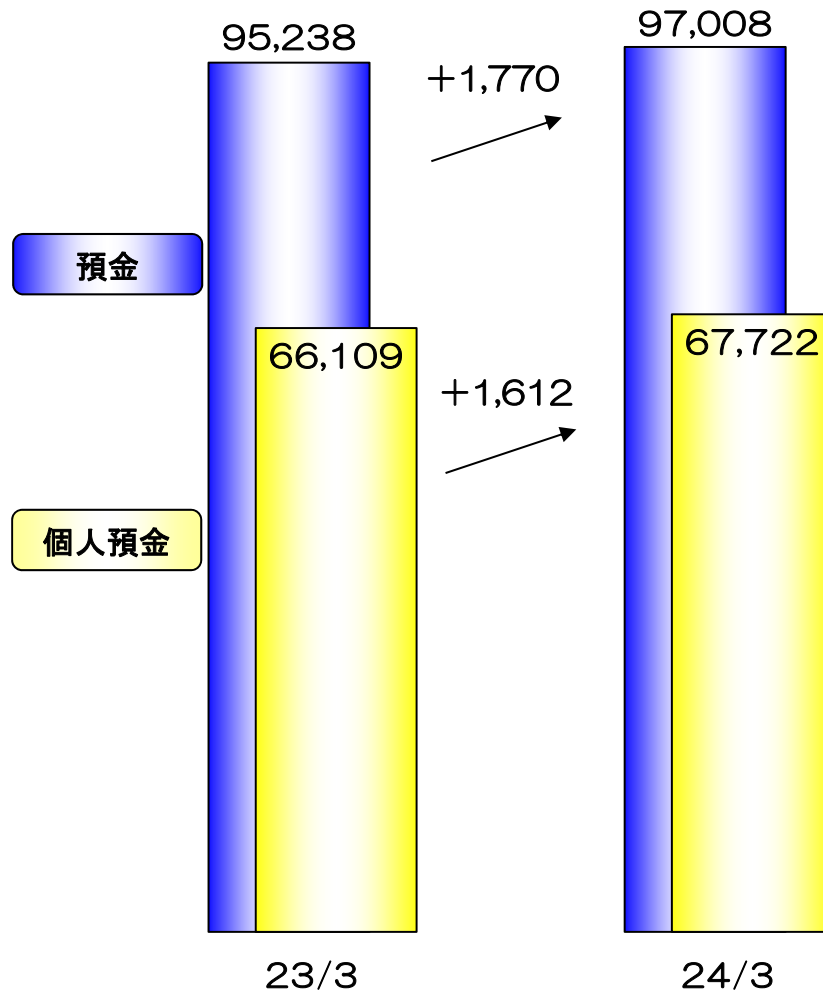
<北海道銀行>

コア業務粗利益 (前年比+10億円)
 金融派生商品収益増加、
 投信販売手数料減少
 経費 (同+16億円)
 人員増加、新システム投資
 経常利益 (同▲10億円)
 与信費用減少、株式等償却増加
 当期利益 (同▲24億円)
 税制改正に伴う法人税等調整額の
 増加 (影響額22億円)

24 / 3期決算概要～預金

➤個人預金の増加を主因に、預金は前年度末比1,770億円増加

【預金】 〈2行合算〉 (末残、億円)



※譲渡性預金を含む

「宝くじ付き定期預金」 (北海道銀行)

- 19年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年サマージャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年年末ジャンボ宝くじ
2等 1億円
- 21年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 22年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 23年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円

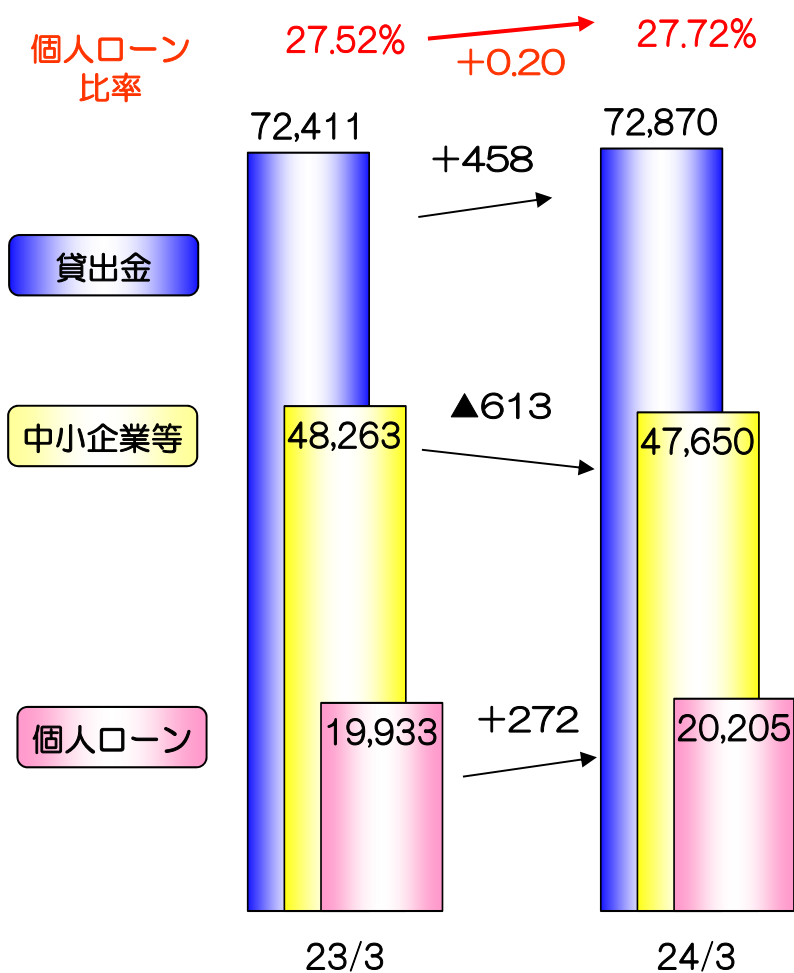


24/3期決算概要～貸出金

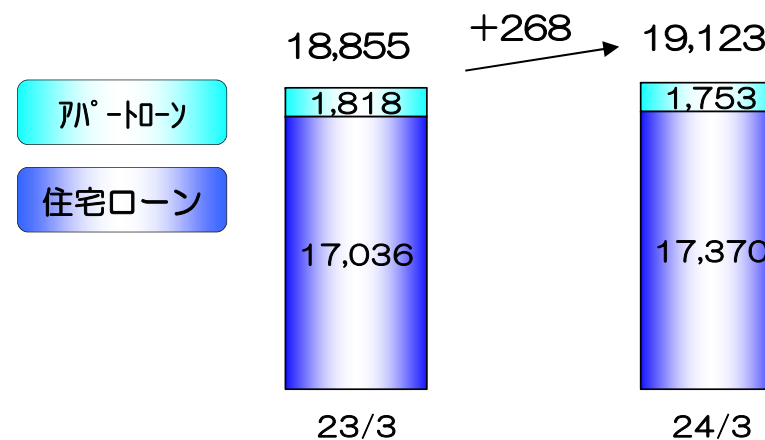
- 貸出金は地公体等向け貸出を主体に前年度末比458億円増加
- 個人ローンは住宅系ローンを主体に前年度末比272億円増加
- 保証協会貸出は企業の資金需要の伸び悩みから減少

(末残、億円)

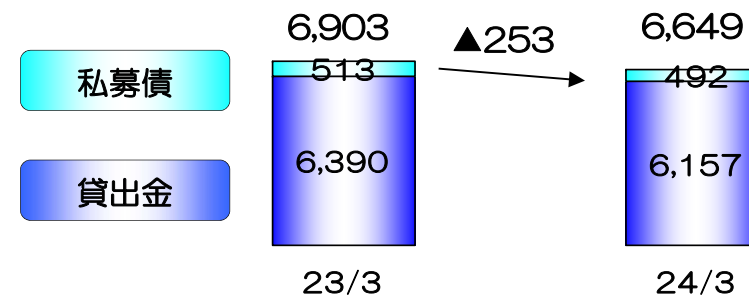
【貸出金】 <2行合算>



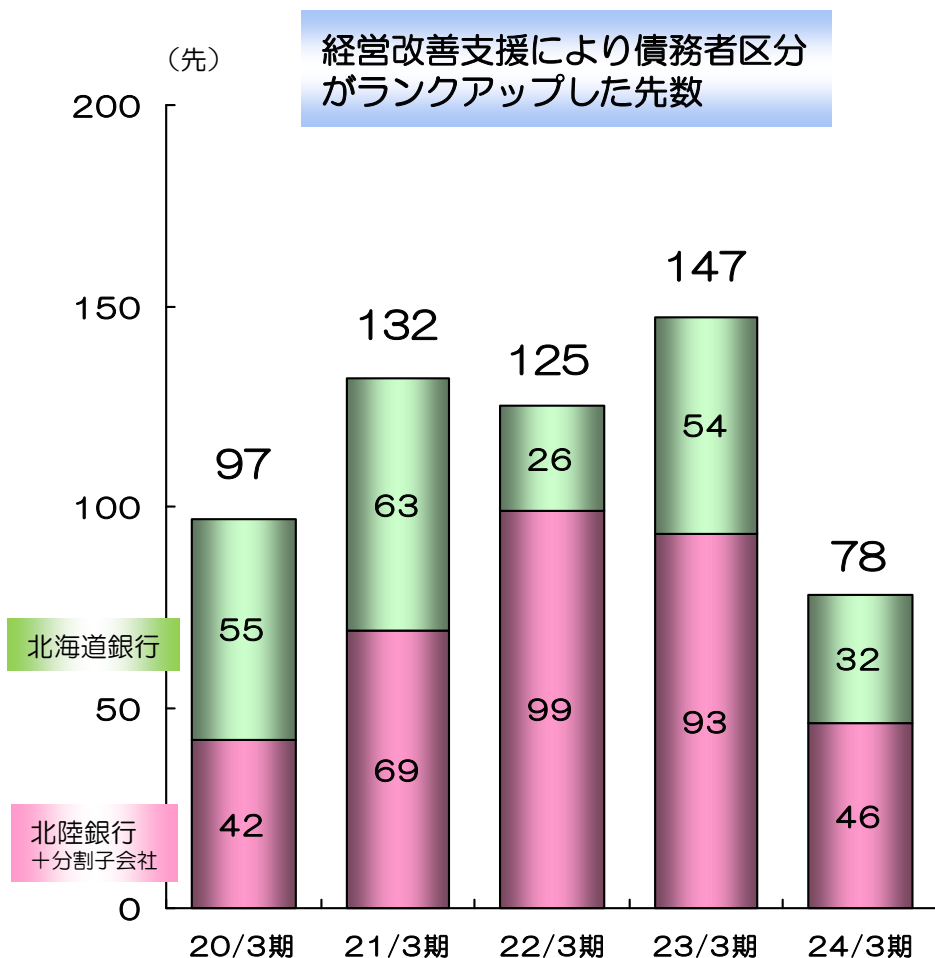
【住宅系ローン残高の推移】 <2行合算>



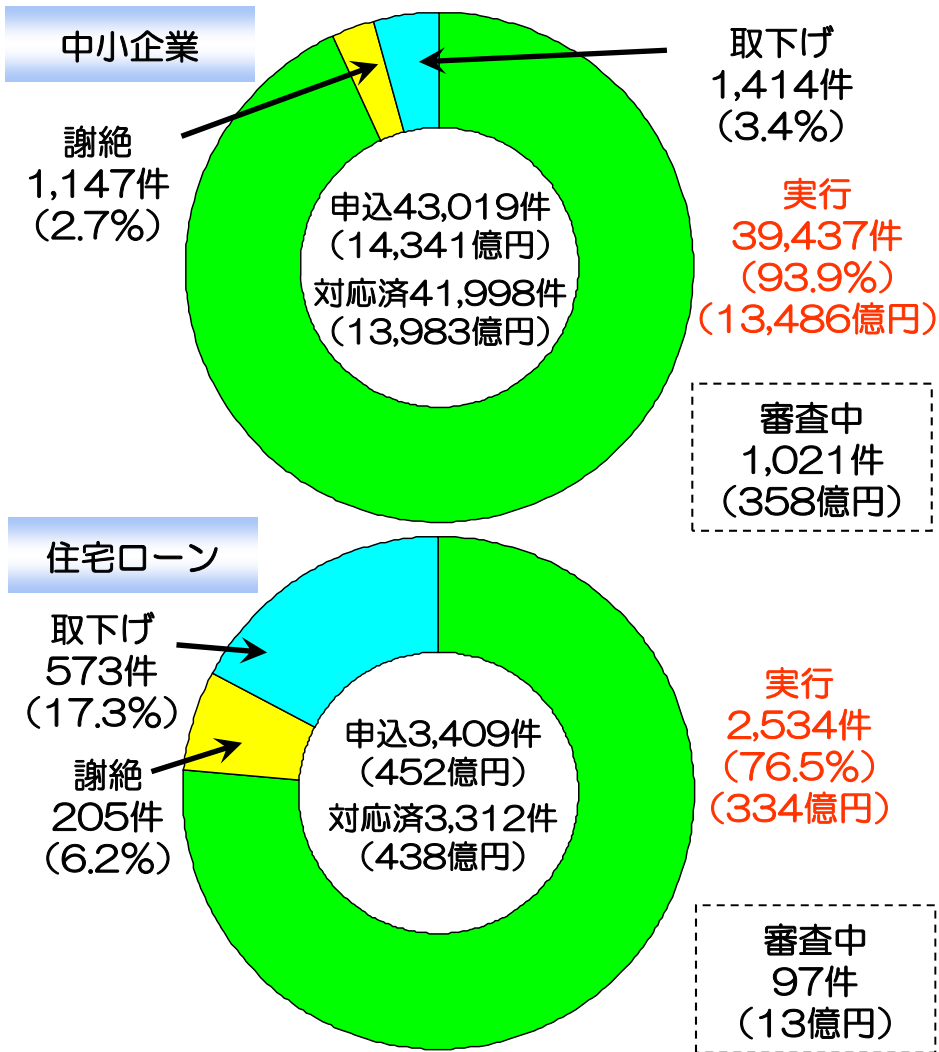
【保証協会保証付貸出の推移】 <2行合算>



経営改善支援の取組成果



金融円滑化対応実績 (21年12月～24年3月、2行合算)



※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

利益予想 (億円)

ほくほくFG連結	中間期	通期	24/3期比
経常収益	980	1,940	▲ 139
経常利益	160	310	▲ 78
当期純利益	90	180	38

2行合算

	中間期	通期	24/3期比
経常収益	910	1,800	▲ 130
コア業務粗利益	745	1,485	▲ 78
経費	495	990	▲ 16
コア業務純益	250	495	▲ 62
与信費用	75	150	45
経常利益	170	325	▲ 80
当期純利益	105	200	33

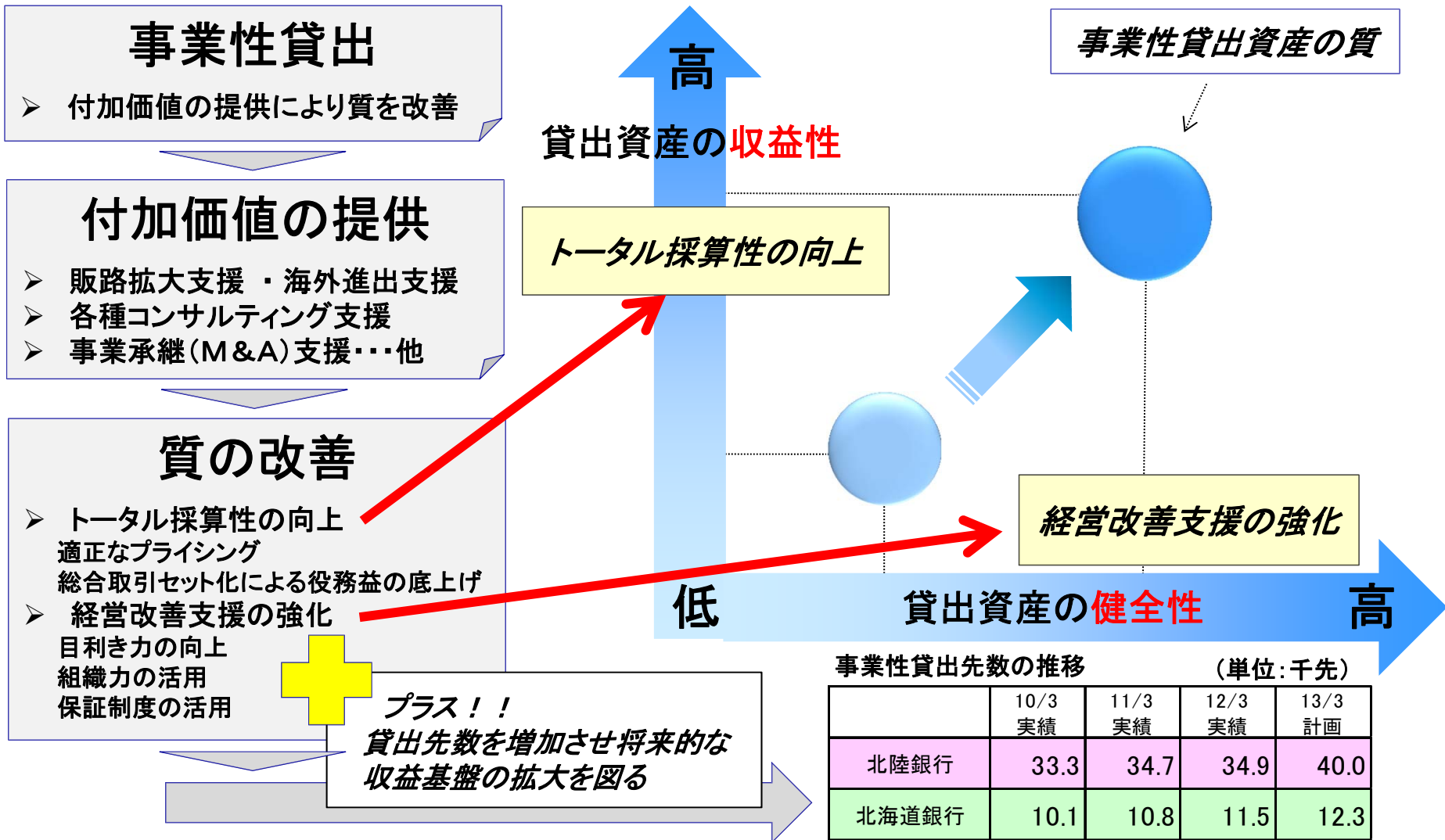
配当予想

	中間	期末	通期	24/3期比
普通株式	0円00銭	3円75銭	3円75銭	—
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	—

経営戦略

営業力の強化 ～ 法人戦略

- 事業性貸出は付加価値の提供により質の改善を図り、収益性、健全性の向上に取り組む
- 貸出先数の増加を図り、将来的な収益基盤の拡大を図る



事業性貸出先数の推移 (単位:千先)

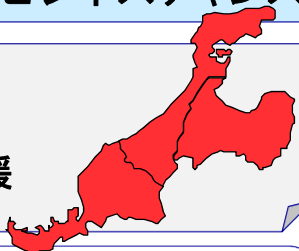
	10/3 実績	11/3 実績	12/3 実績	13/3 計画
北陸銀行	33.3	34.7	34.9	40.0
北海道銀行	10.1	10.8	11.5	12.3

営業力の強化 ～ ビジネスマッチング

- グローバル化への対応、成長分野への取り組みにより新たな収益機会を創出
- 地域プロジェクトを活かしたビジネスチャンスの提供

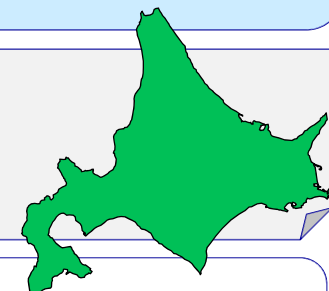
グローバル化対応

- ✓ 地域企業の海外販路開拓を支援



成長分野(農業)

- ✓ もともと強い農業をさらに強く、持続可能なビジネスへ育成



- 海外ビジネスマッチングの取り組み

国際金型展示会



2011.11 中国広東省

寧波商談会



2012.7 中国浙江省

- アグリビジネス推進室の取り組み

植物工場ビジネス



農業経営塾



地域プロジェクト

- 定期便就航
 - 2012.3 (新千歳-関西)ピーチ・アビエーション(LCC)就航
 - 2012.4 (富山-台湾)中華航空就航
 - 2012.7 (新千歳-関西)ジェットスター・ジャパン(LCC)就航予定
- 北陸新幹線開業(2014年度末)
- 北海道フード特区(2012.4 始動)
 - 食糧供給基地として企業集積を図り、輸出拠点化を目指す

成長分野ビジネスマッチング『とやま「食」の商談会』



2012.2 富山市

第3回北海道「観光」特別商談会from中国



2012.6 札幌市

営業力の強化 ～ 海外ネットワーク

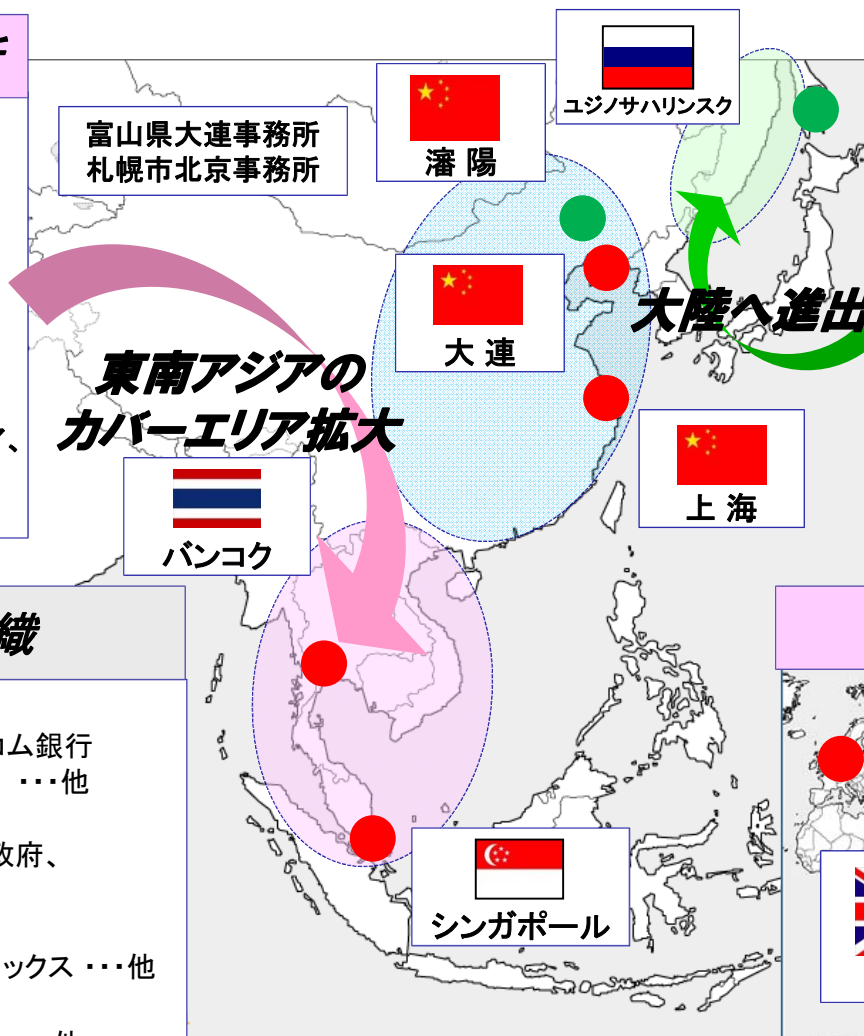
- 2012年3月、バンコク駐在員事務所開設、東南アジアでの事業拡大をサポート
- 2012年4月、ロシア極東(大陸)での活動を強化、ロシア沿海州への進出をサポート

バンコク駐在員事務所



- ✓ タイを中心に、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー等に進出するお取引先の現地支援

東南アジアの カバーエリア拡大



ロシア極東(大陸)

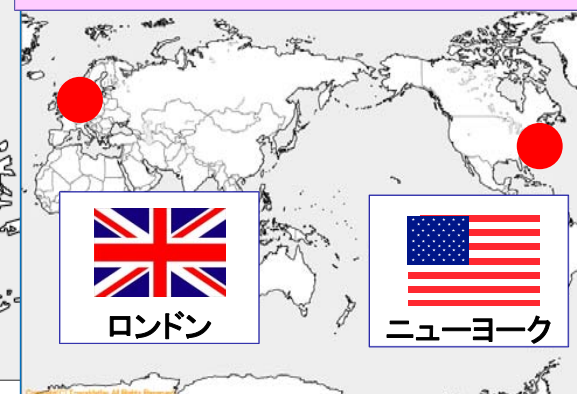


- ✓ ウラジオストク、ハバロフスクに職員1名を出張派遣
- ✓ 2012.5 ロシア金融最大手ズベルバンクと業務提携

提携先・会員組織

- 外国金融機関
中国銀行、タイ・カシコン銀行、ベトナム銀行
ガスプロム銀行、インドステイト銀行 …他
- 外国行政機関
大連市、瀋陽市、上海市、ベトナム政府、
ハバロフスク市、サハリン州 …他
- 国内提携先
日本貿易保険、東京海上日動、オリックス …他
- 会員組織
ほくりく長城会、ほっかいどう長城会 …他

欧州・米国



- サービスメニューを拡充し充実した国際化プログラムを提供
- 成長分野の海外展開を後押しビジネスチャンスを生み出す

サービスメニュー

- 現地法人への直接貸付 **NEW**
- 日本貿易保険(NEXI)取次
- 海外リース案件(ORIX)取次 **NEW**
- NACCS自動引落24時間対応 **NEW**
- 海外専用プリペイドカード取次 **NEW**

ニーズ発掘・囲い込み





- ✓ 海運貨物業者(乙仲)との帯同
- ✓ TV/Web会議の活用
- ✓ 貿易セミナー、商談会の企画
- ✓ 視察団の派遣
- ✓ 地域特性を活かした取組み

人材育成

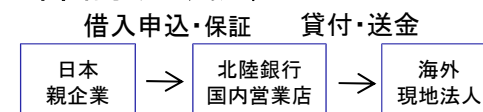
- ✓ 海外研修の強化 ⇒ 増員、中長期化
- ✓ 海外派遣(JETRO)、語学留学(遼寧大学)
- ✓ 語学習得支援(受講料補助)

現地法人への直接貸付

- ✓ 国内営業店から直接取引先の海外現地法人(非居住者)に貸付

	2011年11月 シンガポール向け米ドル建
	2011年12月、2012年3月 中国向け米ドル建
	2012年4月 タイ・バンコク向け米ドル建
	2012年5月 中国向け人民元建

- ✓ 現地法人の資金調達を日本国内からサポート



インドネシア投資セミナー



海外販路開拓 チャレンジフォーラム2012



ロシア極東への進出支援

- モデル農場開設をサポート
地域の農業生産法人と共同でハバロフスク市郊外での寒冷地型モデル農場開設の調査を開始



- サハリン建設業協会と道銀ロシア極東寒冷地住宅関連研究会が協力協定
寒冷地住宅関連分野で関係強化
日ロ企業間のビジネスマッチングを強化し、地域企業の販路拡大に貢献

- 基盤取引、住宅ローン等の生涯取引を取り込み、継続的な収益基盤を確立
- 個人預金の安定的な積み上げを図り、金融商品はポートフォリオ見直し提案を実施

基盤取引の拡大

➤ 給振・年金

サービスプログラムの提供加え、キャッシュクレジットカード(Kitaca)をツールとした給振工作进行を展開



年金は、退職者専用サービスの提供及び年金相談会の開催により早期囲い込みを図る



➤ 口座振替

Web口座振替受付サービス取扱開始

給振年金先数推移 (単位:千先)

	10/3 実績	11/3 実績	12/3 実績	13/3 計画
北陸銀行	734.3	746.4	771.7	800
北海道銀行	864.4	873.1	922.7	950

住宅ローン

- 住宅ローン利用者向け会員制優待サービス



- 「マッピングシステム」を活用した借換工作进行を展開
- 24年6月、両行とも引受緩和団信を導入予定

預かり資産

- 個人預金の安定的な積み上げ
ロングバリュー、ワンダフルワン、宝くじ定期預金
- 金融商品ポートフォリオ見直し提案の実施

本部、生保アドバイザーとの帯同
投信フォローアップチームの設置

- インターネットでの投信、外貨預金の取扱開始
- 融資先オーナーへの相続提案

MCIF

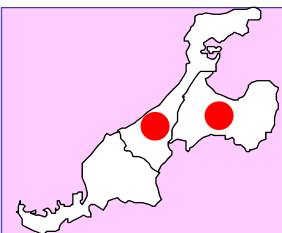
保険弊害防止処置規制の改正

- **金融マーケティングモデルの共同開発**

平成25年を目処に、地銀複数行による高度な金融マーケティングモデルの共同開発を計画

- 機能強化、空白地帯解消を目的とした店舗展開
- マネジメント力強化、幅広い人財育成、若年行員の早期戦力化

店舗展開



2012.2 移動相談車稼働

2011.11支店昇格



藤の木支店

2011.11支店昇格



泉野支店

2011.11支店昇格

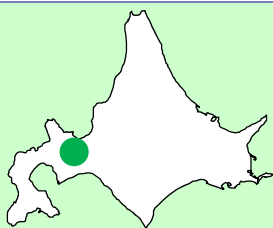


平岡パーク支店

2012.7統括店昇格



北栄支店



2013.8 OPEN



桑園支店

人財育成

部店長クラス

マネジメント力強化

- ✓ 「行内外研修」、「休日セミナー」の開催 … メンタルヘルスケア、他
- ✓ 初任支店長向け「チューター制度」の導入
- ✓ 「マネジメント自己診断」の実施

役席・中堅行員

幅広い人財育成

- ✓ 「各種トレーニー」の実施 ⇒ 海外、融資部、市場金融部、監査部、他
- ✓ 「民間企業研修出向」の実施 ⇒ 幅広い視野を業務に活用
- ✓ 「(出前型)勉強会」の実施 ⇒ 管理・回収、整理業務のスキルアップ
- ✓ 「中堅女性行員特別研修」の実施 ⇒ 主任、役席への登用

若年行員

早期戦力化

- ✓ 「育成プログラム」の実施 ⇒ 融資渉外力の強化
- ✓ 「一般職個人渉外」の育成 ⇒ 個人リテール推進強化
- ✓ 「経済セミナー」の実施 ⇒ 知識武装、経営者との話題づくり

部門・分野別の戦略的な人財活用

- ✓ 会計士・弁護士の定期採用(会計士16名(試験合格者含む)、弁護士3名)
- ✓ ベテラン層の登用継続、OB、OGの再雇用

- 共同利用システム(MEJAR)を戦略的に活用し、FGシナジー効果を加速する
- コストの抑制を図り、戦略的分野への投資余力を捻出する

MEJAR



FGシナジー効果
を加速

- **サブシステムの共同化**
共同化拡大による利用料、開発費等の分散化
- **共同化サブWGの立ち上げ**
構想段階から情報を共有し、開発案件の共同化によるコスト削減
- **システム開発の迅速化**
犯罪対策、制度対応、多様化する商品開発への迅速な対応
- **機器、帳票類等の共同調達**
伝票、帳票類等の共同調達によるコスト削減
- **バックオフィスの集中化拡大**
ほくほく債権回収

2012.5

七十七銀行が共同利用システム(MEJAR)の新たな参加行として契約を締結

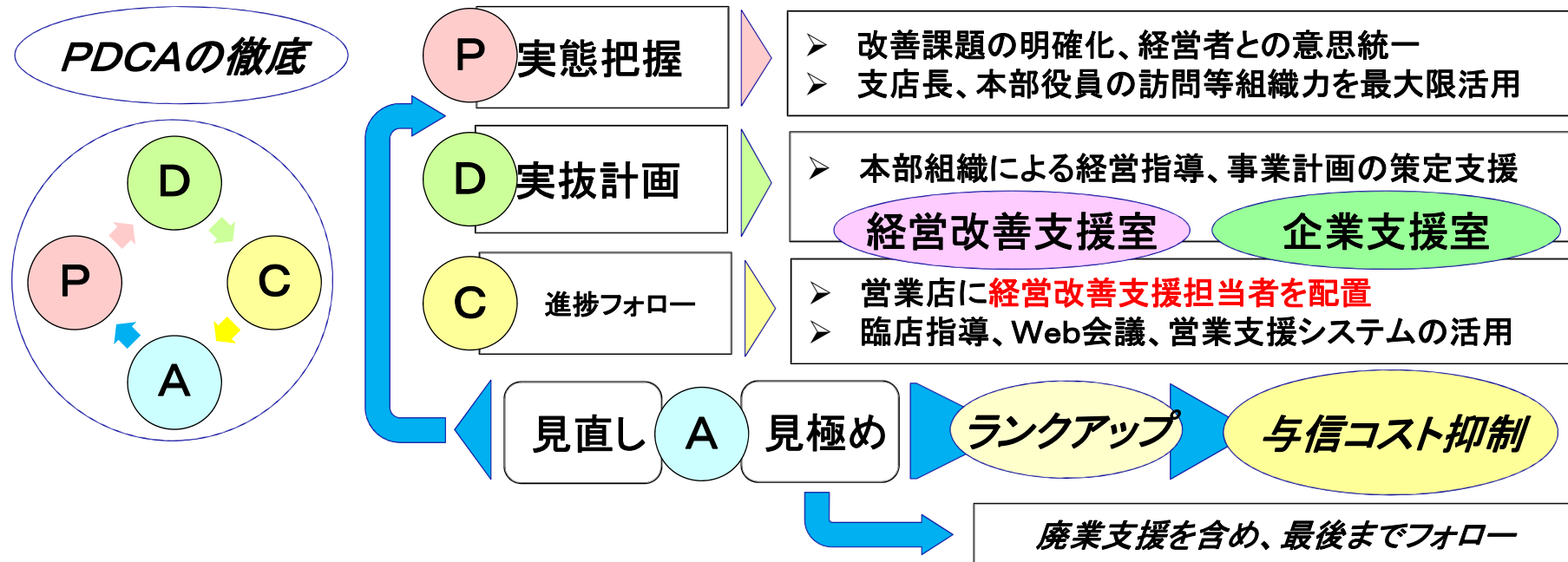
- **共同利用行の増加による利用料、開発コストの分散化**
北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行、七十七銀行の4行合計で預金量27兆円の規模(12/3月末現在、除く譲渡性預金)、新たな参加行の増加に期待

経費削減の取組

- **CC運動の展開**
営業店よりコスト削減に係る提案を募集
- **経費管理WGを組成**
物件費を主体とした経費圧縮の取組みを強化

経営基盤の安定化 ～ 金融円滑化出口支援

- 組織力、コンサルティング機能の発揮により経営改善支援を強化
- 営業店が主体性を持ってPDCAサイクルを回し、廃業支援を含め、最後までフォロー



北陸銀行 経営改善支援の取組状況(平成23年度) 北海道銀行

項目	数	項目	率
期初債務者	16,740先	経営改善支援取組み率	3.9%
経営改善支援取組先	659先	再生計画策定率	95.9%
再生計画策定先	632先	ランクアップ率	7.0%
ランクアップ先	46先		

※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

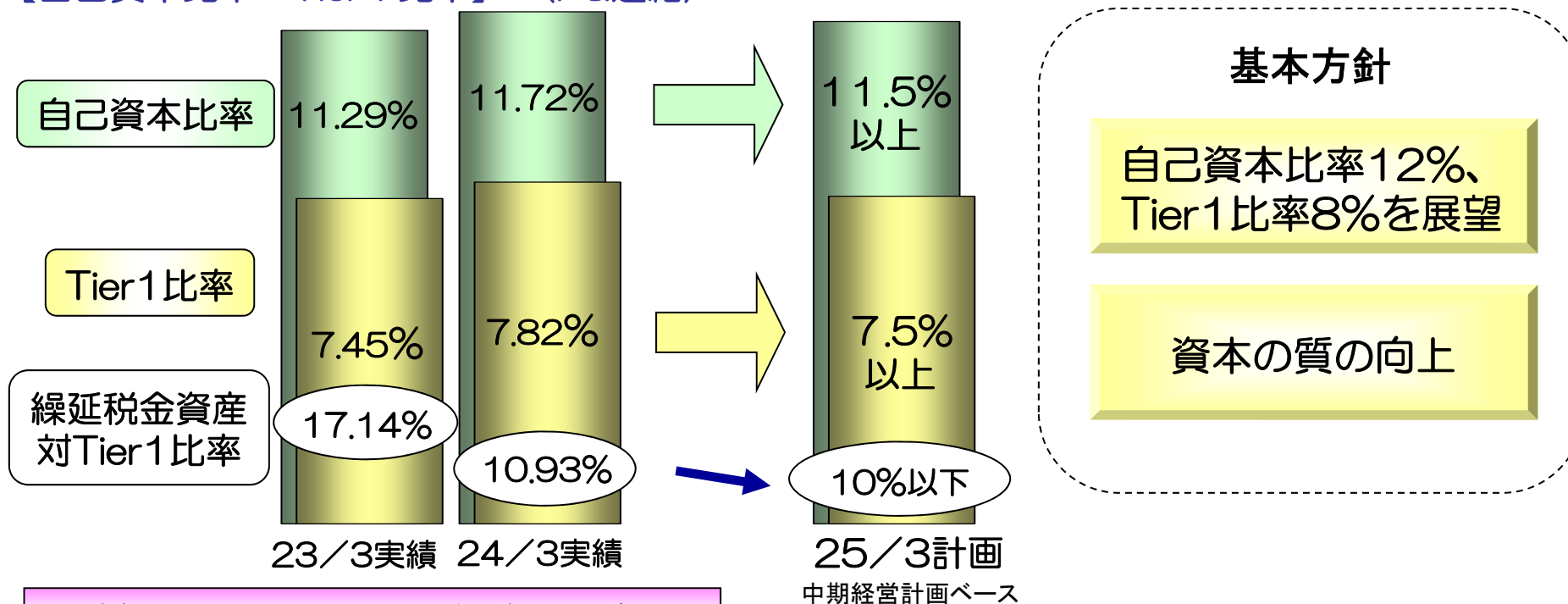
項目	数	項目	率
期初債務者	4,755先	経営改善支援取組み率	6.4%
経営改善支援取組先	302先	再生計画策定率	98.0%
再生計画策定先	296先	ランクアップ率	10.6%
ランクアップ先	32先		

※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

資本政策

- 24年3期現在、自己資本比率、Tier1比率は中期経営計画の目標水準をクリア
- 新自己資本規制、国際会計基準等に備え、内部留保にも配意
- 12/5 株主価値向上を図るため、機動的に自己株式(上限40億円)の取得を開始

【自己資本比率・Tier1比率】 〈FG連結〉



普通株式 配当の実績・予想

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 予想
年間配当	2円	2円50銭	3円	3円50銭	3円75銭	3円75銭	3円75銭

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



富山県と災害協定 締結

移動相談車導入

創立60周年記念

北海道銀行コレクション



包括連携協力協定

富大、金大生を海外へ派遣



環境への取組

植樹活動

道銀フォレスト運動



ほくぎんマネジメント スクール

次世代経営者養成セミナー



学生交流を仲介

酪農大とロシア極東農大



環境への取組

太陽光パネル・LEDなど採用

金沢問屋町支店



地域のスポーツ支援

女子カーリングチームをサポート



業績の推移

(単位：億円)

(ほくほくFG連結)	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期	24/3期 通期
経常収益	2,422	2,612	2,396	2,267	2,146	2,079
経常利益	700	663	213	354	372	388
当期純利益	406	386	370	192	184	141
自己資本比率	10.44%	10.39%	10.81%	10.83%	11.29%	11.72%

(2行合算) ※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は十分割子会社ベース

コア業務粗利益	1,813	1,785	1,683	1,609	1,554	1,563
経費	879	899	915	944	986	1,006
コア業務純益	934	886	768	664	567	557
有価証券等関係損益	▲ 15	▲ 6	▲ 176	2	▲ 10	▲ 14
与信費用	262	255	355	255	145	104
経常利益	701	650	213	368	370	405
当期純利益	393	390	379	260	196	166
ROA (コア業務純益)	1.03%	0.95%	0.80%	0.68%	0.56%	0.53%
OHR (コア業務粗利益ベース)	48.49%	50.36%	54.37%	58.68%	63.47%	64.37%
貸出金 (未残)	68,397	68,976	71,567	69,936	72,411	72,870
預金 (未残) 含む譲渡性預金	85,176	85,022	87,424	91,203	95,238	97,008
有価証券 (未残)	17,038	17,148	17,250	20,150	23,151	24,718
金融再生法開示債権	3,150	2,607	2,275	2,152	2,205	2,368
開示債権比率	4.43%	3.64%	3.07%	2.98%	2.96%	3.17%

主要経営指標の推移（北陸銀行）

（単位：億円）

	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期	24/3期 通期
経常収益	1,301	1,412	1,242	1,137	1,088	1,054
コア業務粗利益	1,066	1,052	947	901	885	885
経費	505	511	513	518	538	542
コア業務純益	561	541	434	383	346	343
有価証券等関係損益	6	▲ 7	▲ 126	▲ 24	▲ 28	▲ 11
与信費用	225	204	214	134	71	44
経常利益	381	356	88	199	229	274
当期純利益	186	212	264	156	119	114

自己資本比率	9.16%	10.10%	10.23%	10.80%	11.32%	11.85%
ROA（コア業務純益ベース）	1.05%	0.99%	0.77%	0.68%	0.59%	0.57%
OHR（コア業務粗利益ベース）	47.37%	48.53%	54.18%	57.48%	60.85%	61.25%
貸出金（末残）	41,467	42,107	42,933	41,426	42,523	42,339
預金（末残）含む譲渡性預金	49,763	49,557	50,925	53,067	54,399	55,451
有価証券（末残）	8,532	8,209	8,588	10,159	12,175	13,154
金融再生法開示債権	2,022	1,635	1,426	1,473	1,443	1,535
開示債権比率	4.65%	3.72%	3.19%	3.42%	3.28%	3.53%

※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は+分割子会社ベース

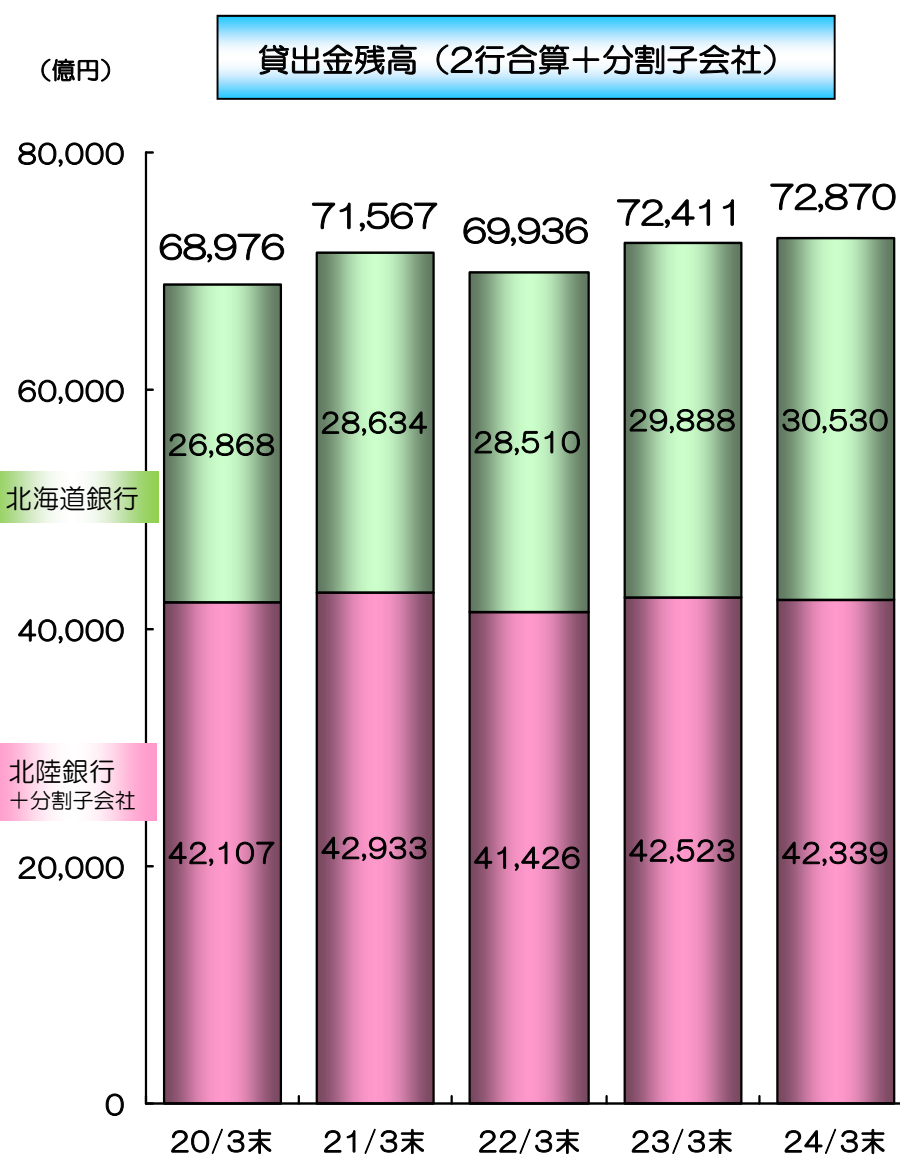
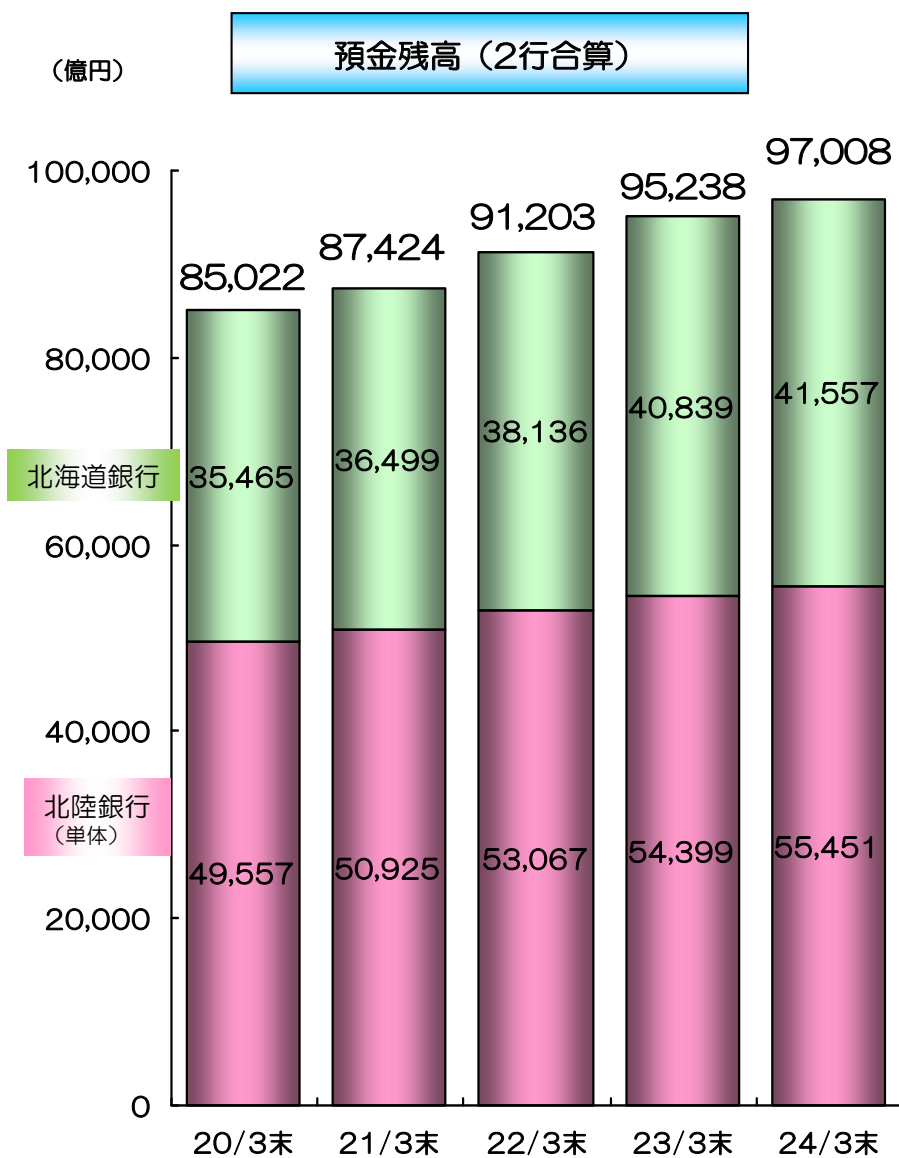
主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位：億円)

	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期	23/3期 通期	24/3期 通期
経常収益	884	960	943	937	870	875
コア業務粗利益	747	732	735	708	668	678
経費	374	388	402	426	447	464
コア業務純益	372	344	333	281	221	214
有価証券等関係損益	▲ 21	1	▲ 49	27	17	▲ 2
与信費用	36	51	140	120	74	59
経常利益	319	294	125	169	141	131
当期純利益	207	178	114	103	77	52

自己資本比率	9.91%	10.13%	10.45%	10.19%	10.59%	10.80%
ROA (コア業務純益ベース)	1.00%	0.90%	0.85%	0.68%	0.51%	0.47%
OHR (コア業務粗利益ベース)	50.08%	52.98%	54.62%	60.21%	66.93%	68.44%
貸出金 (未残)	26,929	26,868	28,634	28,510	29,888	30,530
預金 (未残) 含む譲渡性預金	35,413	35,465	36,499	38,136	40,839	41,557
有価証券 (未残)	8,506	8,938	8,662	9,991	10,976	11,564
金融再生法開示債権	1,128	972	848	679	763	833
開示債権比率	4.08%	3.52%	2.89%	2.32%	2.49%	2.66%

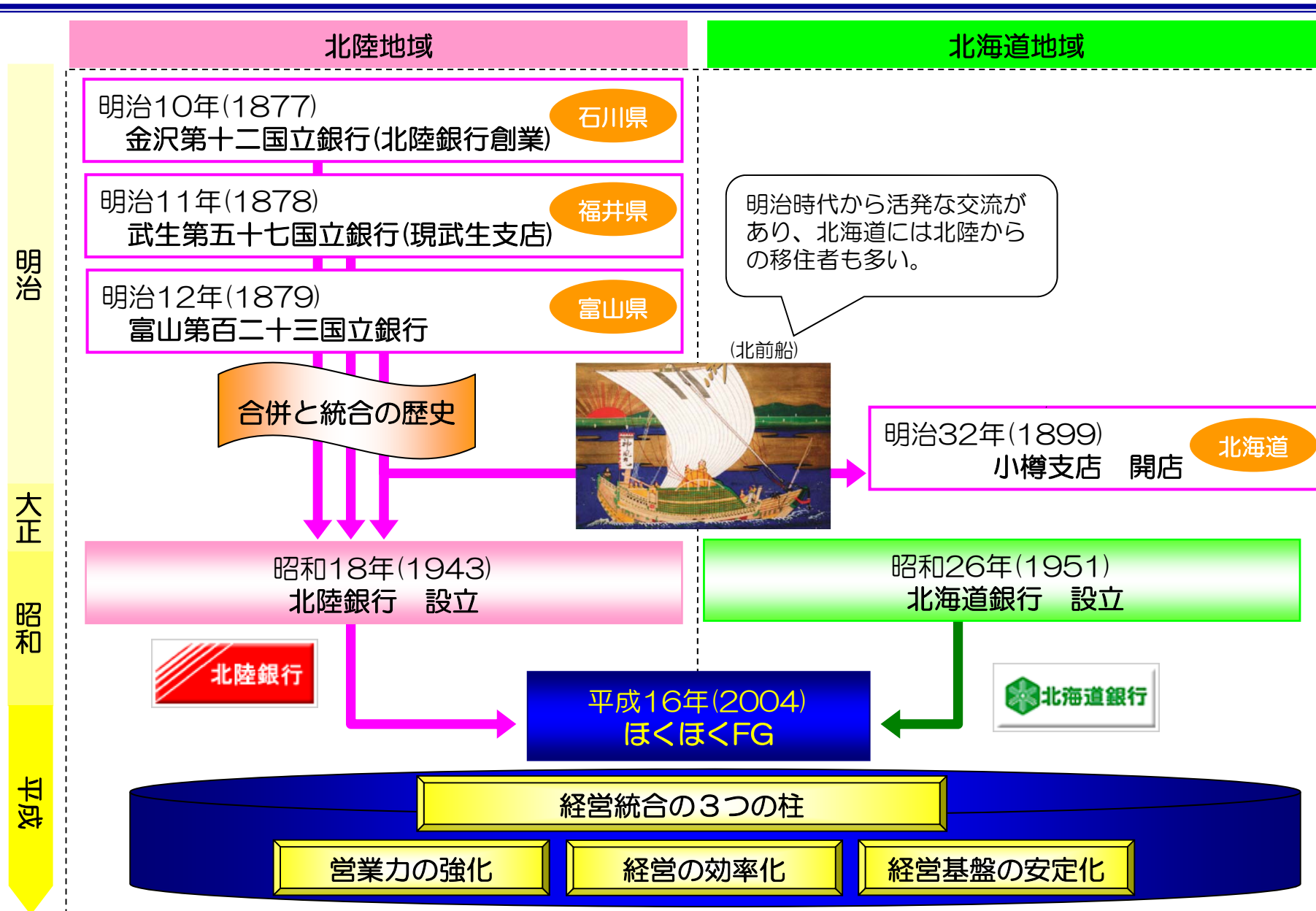
～業績の推移～預金・貸出金



※譲渡性預金を含む

(ご参考) 当社グループ概要

(ご参考) ほくほくFG統合までのあゆみ



(ご参考) ほくほくFGのプロフィール

プロフィール (平成24年3月末)

商号	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
設立	平成15年9月26日
本店所在地	富山県富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	708億9,500万円
発行済株式数	普通株式 1,391,630,146株 第1回第5種優先株式 107,432,000株
総資産	10兆6,293億円 (連結)
預金 (NCD含む)	9兆6,702億円 (連結)
貸出金	7兆2,726億円 (連結)
自己資本比率	11.72% (連結)
格付 (平成24年5月現在)	ほくほくFG A (R&I)、A (JCR) 北陸銀行 A (R&I)、A (JCR) 北海道銀行 A (R&I)、A (JCR)

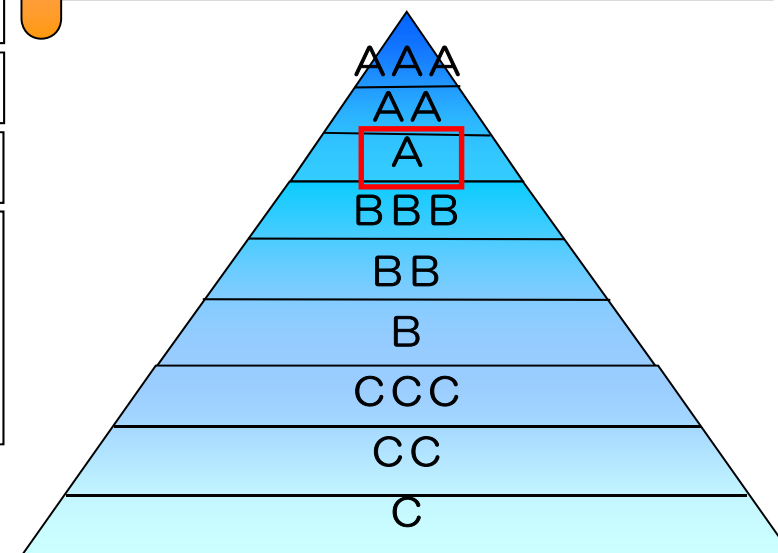
格付け状況

平成19年12月
R&I: BBB+ → A (2段階格上げ) ~北陸銀行

平成20年2月
JCR: BBB+ → A- (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行

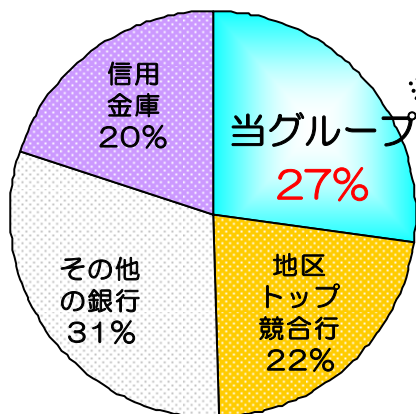
平成20年5月
R&I: A ~ほくほくFG、北海道銀行

平成22年3月
JCR: A- → A (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行

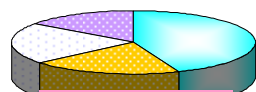


地域シェア (平成23年9月末)

貸出金



北陸三県



富山県44%

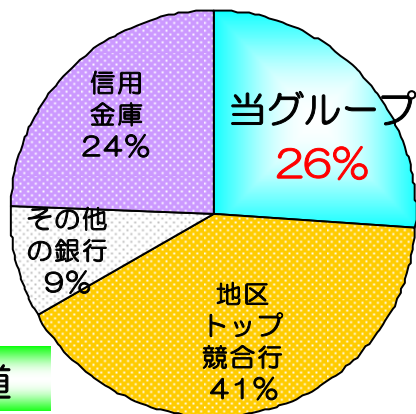


石川県18%

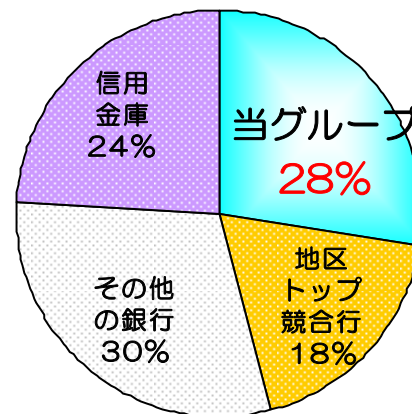


福井県16%

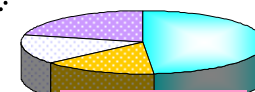
北海道



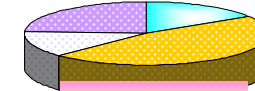
預金



北陸三県



富山県49%

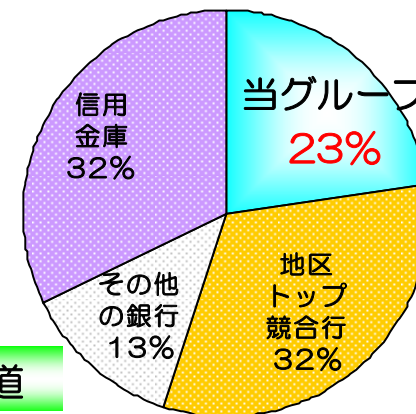


石川県16%



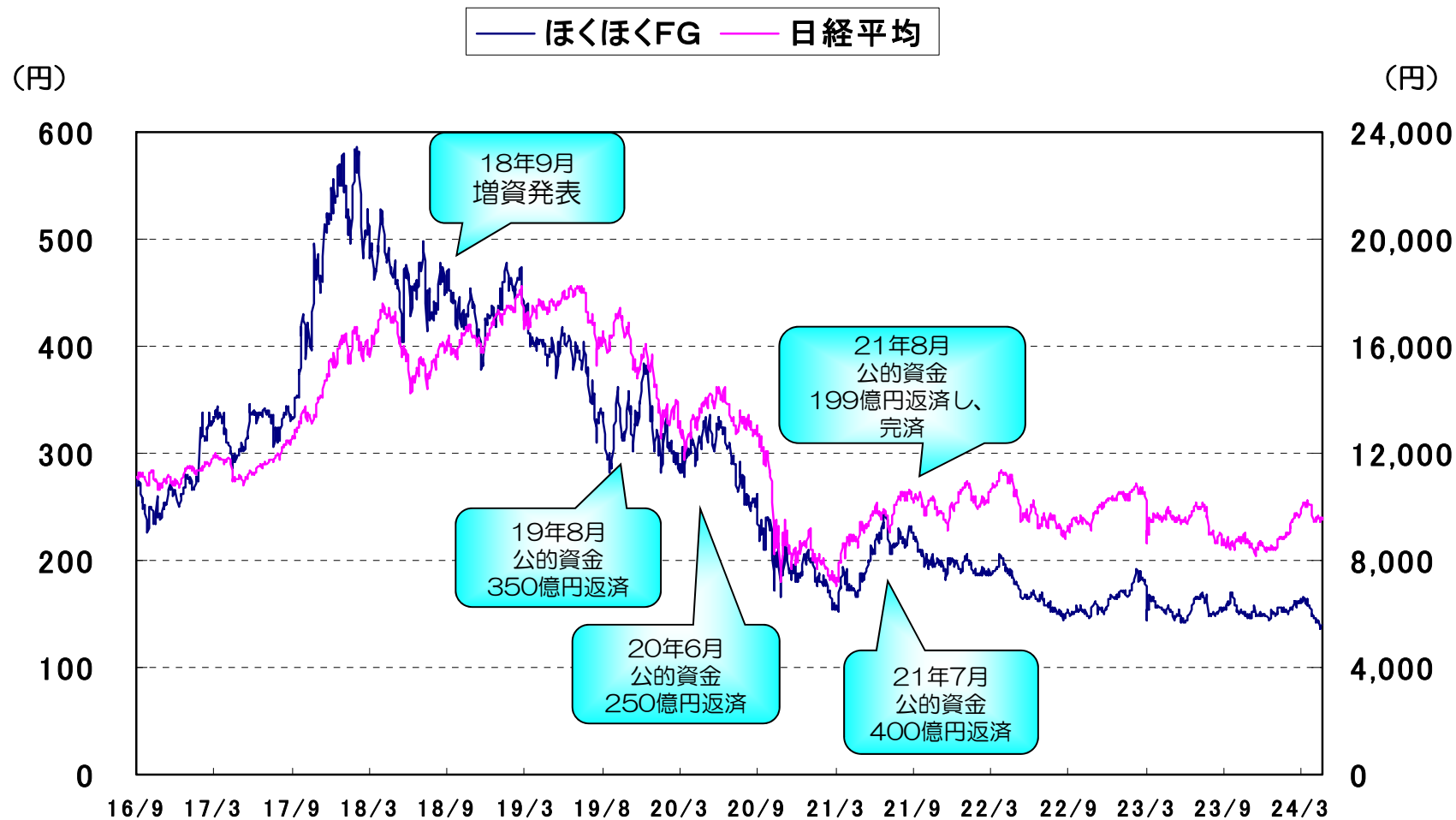
福井県14%

北海道



シェア ⇒ 預金・貸出金ともに、富山県でトップ、北海道、石川県、福井県で第2位。

(ご参考) 株価推移



本日はご多忙の中、当社説明会にご出席いただきまして、まことにありがとうございました。

本日のご説明ならびに本資料を通じまして、ほくほくフィナンシャルグループに対するご理解の一助としていただければ幸いです。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

取締役社長 高木 繁雄
取締役副社長 堰八 義博

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：鈴木）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。